

**第1号様式 記入上の注意**

「鉛筆」及び「消せるボールペン」等、消すことができる筆記具によって記入された書類並びに「修正液」及び「修正テープ」により修正された書類は受け付けることができません。

第1号様式（第10条～第12条、第13条の2～第13条の4、第15条、第16条、第19条、第23条関係）

教育職員検定申請書 ※受付[第 号] 免許状授与 免許状交付													
私は下記の免許状の（授与） <del>（交付）</del> を受けたいので、関係書類を添えて申し出ます。													
受けようとする 免許状の種類		幼、小、中、 <b>高</b> 、養護、栄養、 特、自立教科等				専修、一種、二種、 助、 <b>特別</b>		教科等		<b>看護</b>			
根拠	免許法別表 1, 2, 2の2	免許法別表 3, 4, 5, 6, 6の2, 7, 8	免許法 <b>5</b> 条 2項	免許法 5条の2 3項	免許法 16条	免許法 18条	施行法 1条 号	施行法 2条 号	免許法 附則 8, 9, 17, 18 項	改正 法附 則 6項	12年 改正法 附則 2, 3 項	免許法 施行規 則64, 65条	改正 省令 附則 2条
	誓約書												
私は、教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までのいずれにも該当する者でないこと及び申請について虚偽のないことを誓います。													
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日													
氏名欄においては、押印は不要です。													
氏名													
本籍	鹿児島 都道府県 (旧本籍地: )				現住所 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1 (連絡先 000-0000-0000)								
氏名	かごしま たろう 鹿児島 太郎 (旧姓: )				生年月日 平成 6 年 4 月 5 日生 (和暦)								
現任校	鹿児島県立○○高等学校				現職名		教諭		職員番号		123456		
※ 手 数 料	「現任校」「現職名」については、現に所属する勤務校がある者のみ記入する。												
	「職員番号」欄は、鹿児島県教育委員会の任命に係る者のみ記入する。												
<b>何も記入しない</b>													
5,000円分の鹿児島県収入証紙を貼付する。 ※「収入印紙」ではないので注意。県外居住者は「郵便為替」に代える。													

注 ※は記入しない

受けようとする免許状の種類は、該当する文字を○で囲む。

例) 高等学校教諭特別免許状(看護)を希望する場合

高 特別

「教科等」は必要ある者のみ記入する。特別支援教諭特別免許状取得希望の場合は、申請を希望する特別支援教育領域を記入する。

教育職員免許法第5条1項とは  
 第1号 18歳未満の者  
 第2号 高等学校を卒業しない者(通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを修了しない者を含む。)ただし、文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認められた者を除く。  
 第3号 禁錮以上の刑に処せられた者  
 第4号 第10条第1項第2号<sup>※1</sup>又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該処分の日から3年を経過しない者  
 第5号 第11条第1項又は第2項から第3項までの規定<sup>※2</sup>により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者  
 第6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者  
 ※1 第10条第1項第2号…公立学校の教員であって懲戒免職の処分を受けたとき  
 ※2 第11条第1項又は第2項から第3項までの規定…国立学校、公立学校又は私立学校の教員が、懲戒免職の事由に相当する事由により解雇された場合や、免許状を有する者(教育職員以外の者に限る。)が法令の規定に故意に違反した場合、又は教育職員たるにふさわしくない非行があって、その情状が重いと認められるなどして、免許状の取上げ処分を受けた場合

- ・ 任命者(雇用者)からの推薦により申請できる免許状です。個人での申請はできません。
- ・ 申請前に、必ず教職員課職員係免許担当に御相談ください。

(裏面)

所有する免許状の種類	教科・領域	授与権者	授与年月日
小学校教諭一種免許状		鹿児島県	平成29年3月24日

「所有する免許状」の種類については、所有する教育職員免許状について、全て記入すること。

高校から現在(申請の日)までの学業、実務、家庭、休・退職等の期間についてもれなく記入するとともに、左側の全線を利用して履歴が一目瞭然とするよう図例のように図示すること。

「学業」の項目は、卒業、修了(退学を含む。)したものにつき、その名称と日付を記入すること。

## 履 歴 書

(例)	年 月 日	
3 高	平成22年4月1日	官公私立〇〇高等学校 入学
	平成25年3月31日	官公私立〇〇高等学校 卒業(修了)(退学)(休学)
4 (短) 大	平成25年4月1日	官公私立〇〇大学△△学部□□学科 入学
	平成29年3月24日	官公私立〇〇大学△△学部□□学科 卒業(修了)(退学)(休学)
12 中教諭	平成29年4月1日	官公私立〇〇中学校教諭(助教諭・講師・指導員等)勤務 (担当教科)(発令庁)
	( 年 月 日)	(〇〇会社入社(仕事内容))
	( 年 月 日)	〇〇学校(担当教科等)
	( 年 月 日)	〇〇の理由により退職
	( 年 月 日)	〇〇の理由により休職(復職)
現在	令和〇年3月31日	現在 官公私立〇〇中学校教諭 勤務中
		賞罰
	平成28年4月5日	〇〇により〇〇賞罰を受く 発令庁

「学業」「業務」「賞罰」の3つの項目について必ず記入すること。該当がなければ、その項目下に「該当なし」と記入すること。

該当する事項がなければ「該当なし」と記入する。